

武漢事務所便り週間新聞記事報告 7 号 2011.5.21-2011.5. 27

2011 年 5 月 24 日付け「長江日報」により

武漢は「水上高速鉄道」を建設し、上海までわずか 48 時間到着を目指す

武漢は長江のゴールデン水路にて、中西部地域の海外貿易輸出「水上高速鉄道」を建設し、武漢から上海の洋山港まで 48 時間内で到着することを目指す。

昨日、武漢市政府常務委員会では「江海直通国際貿易コンテナ航路運輸サービスの向上に関する意見」を基本的に可決した。

当該「意見」は 8 つの江海直通サービス政策を打ち出した。政策には、主に水上運輸企業は武漢から上海の洋山港「江海直通」外国貿易コンテナ航路が建設されることによって、効率や定刻率を高めること、72 時間到着の運行ダイヤに対して、補助金は原案の 1 便あたりに 5 万元から 6 万元にアップし、さらに 48 時間以内に到着できる運行ダイヤに対して、補助金の 6 万元以外にも、1 便あたりに 2 万元追加することを奨励すること、そして定期的な運行ダイヤ制度を実現し、「江海直通」航路貨物に対して、優先通関通路を設置する政策が含まれた。

武漢江海直通航路は 2006 年 5 月に開通して以来、赤字運営のため 3 度も運行停止となった経緯がある。2009 年 2 月に運営再開した後、武漢市は「江海直通」運行企業に対して、各運行ダイヤに 5 万元の補助金を出した。しかし、様々な原因で、元々 3 日間(72 時間)で届く貨物が、5 日間から 8 日間までかかるものもあり、大幅に延着するという。

2011年5月27日付け「長江日報」により

アモイ各界は「靈秀湖北」を高く評価し

武漢・アモイは旅行商品共同開発覚書に署名

湖北省政府主催の「靈秀湖北テーマ宣伝年 広東香港アモイ大型旅行プレゼンテーション」がアモイで開催された。武漢とアモイの間で、初めての旅行商品共同開発覚書を交わし、両市が辛亥革命 100 周年記念旅行を共に推進し、高速鉄道による旅行コースを共に開発する。

アモイ特別行政区社会文化司の張素梅代表、アモイ旅遊局の安棟梁局長、アモイ旅遊業会の蕭志誠会長が同プレゼンテーションに出席した。安棟梁局長は「靈秀湖北」旅行宣伝映像及び 10 件のテーマ旅行のプレゼンテーションを見て、心より「靈秀湖北」の素晴らしさを感じ、出来るだけ早く現地に行き、荆楚「靈秀」の迫力を実感したいと述べた。

覚書によると、湖北省とアモイは旅行商品の共同開発を積極的に推進し、両地域の「高速鉄道を利用する旅行」に力を入れる。

湖北省中国旅行、宜昌三峡長江国際旅行がそれぞれアモイの旅行社と協力し、辛亥革命の旅行コースを開発していく予定である。

アモイ社会文化司の代表張素梅氏は「今年は辛亥革命 100 周年で、武漢は辛亥革命の発端地であり、一方アモイは辛亥革命思想の発祥地の一つである。両地域は便利な武漢広州高速鉄道を利用し、「靈秀湖北」を切り口とし、孫中山と辛亥革命の精神をより多くの市民に伝える旅行商品を開発することによって、武漢・アモイの文化の繋がりを感じ、アモイの青少年の祖国やアモイに対する愛郷心を持たせることを目指す。